

社協だより

令和4年8月15日 (第143号)

発行者
 社会福祉法人
 高山村社会福祉協議会
 TEL 242-1220
 FAX 242-1222
 印刷所
 (株) オフセット



世代間交流 七夕飾り作りを開催



参加者全員で記念撮影



網飾りや吹き流しを作る親子



願い事を書いた短冊を笹に飾り付け

7月6日(水)、高山村社会福祉協議会では世代間交流事業として、更生保護女性会及びシニアクラブ連合会女性委員の皆さんのご協力をいただき、子育て支援センターを利用する親子の皆さんと「作ってあそぼう七夕さま」を開催しました。

今年14組31人の親子が参加し、網飾り(天の川)や吹き流しなどを作り、願い事を書いた短冊とともに笹に飾り付けを行いました。

子どもたちは、お母さんと一緒に折り紙を切ったり、飾り付けをするなど、とても上手に仕上げることができました。

参加したお母さんからは「季節の行事を子どもたちに体験させることができ楽しかった」「子どもと一緒に飾り付けができて楽しかった」との声が聞かれました。

最後に参加者全員で記念撮影を行い、帰宅する際は、飾り付けした笹を持ち帰りました。

掲載記事

社協の決算	2
小学生サバイバル飯作り	3
高齢者の料理教室開催 他	3
社協からのお知らせ 他	4
社協の役職員紹介	4



社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。

令和 3 年度 社協収支決算の概要

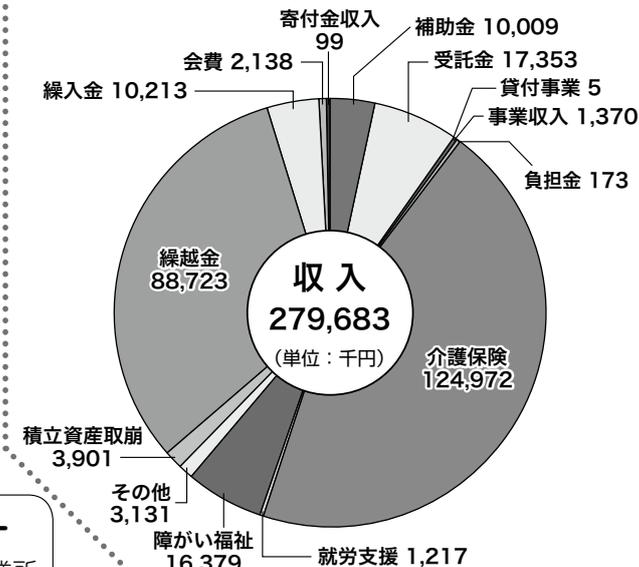
令和 4 年度第 1 回理事会及び定時評議員会を 6 月に開催し、令和 3 年度事業報告、一般会計資金収支決算が原案どおり承認されました。

令和 3 年度の収入総額は 2 億 7,968 万 3 千円で、前年度に比べて 705 万 1 千円の増となりました。

一方、支出総額は 1 億 8,457 万 5 千円で、前年度に比べて 66 万 6 千円の増となっております。

今後も「誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けるために」利用者の立場に立ち、満足の得られる地域福祉サービスに努めてまいります。

収入の状況



支出の状況

◆就労継続支援 B 型事業所

一般就労が困難な方を対象に、働く場を提供し、知識及び能力向上の訓練を実施しました。
・年間開所日 …………… 238 日
・利用延べ人数 …………… 1,885 人

◆フラワーセンター

B 型通所者及び共同作業所の就労訓練の場として花鉢等を栽培し販売するほか、村内の花いっぱい運動事業へ苗を供給しました。
7,820 鉢販売

◆高齢者福祉センター 管理運営事業

村内の高齢者の皆さんに交流や入浴等のため施設を利用して頂きました。
・高齢者センター
開所日 …………… 323 日
利用延べ人数 …… 8,641 人
(7 月～9 月熱中症対策により無料開放)
・松の湯荘
利用延べ人数 …… 1,892 人

◆総合事業

高齢者交流センター「松の湯荘」において、送迎により運動、レクリエーション、入浴・食事等のサービスを提供しました。
・開所日 …………… 255 日
・利用延べ人数 …………… 1,892 人

◆訪問介護事業

ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護及び生活援助のサービスを提供しました。
・年間提供日数 …………… 365 日
・利用回数
介護保険 …………… 3,641 回
障がい自立支援 …… 478 回
軽度生活支援 …………… 151 回

◆通所介護事業

デイサービスセンターにおいて、送迎により、入浴、機能訓練、レクリエーション、食事等のサービスを提供しました。
・年間稼働日数 …………… 302 日
・利用延べ人数
介護保険 …………… 7,695 人
障がい自立支援 …… 286 人

◆法人運営事業

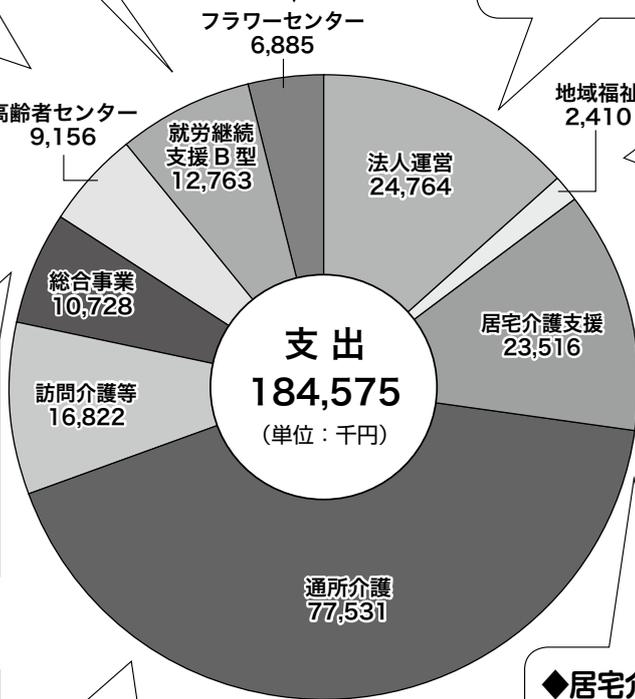
社協の適正運営及び組織体制の充実を図るとともに、職員の専門性を活かし、資質向上に努めました。

◆地域福祉推進事業

- ・ボランティア育成支援
- ・サロン事業支援
- ・金銭管理、財産保全サービス
- ・福祉団体育成
- ・福祉輸送サービス
- ・結婚相談
- ・くらしの資金、生活福祉資金貸付 など

◆居宅介護支援事業・相談支援事業

ケアマネジャーが利用者や介護者家族の状況、希望を総合調整し、適切な介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、在宅介護を支援しました。
・ケアプラン作成件数 …………… 2,146 件
・障がいサービス計画作成件数 …… 27 件



小学校わくわく村 サバイバル飯作り

7月16日(土)、高山小学校わくわく村と高山村社会福祉協議会の共催で、小学生サマーチャレンジ「災害ボランティア講座・サバイバル飯」を高山小学校で開催しました。

最初に、村総務課危機管理防災係の担当者から、防災倉庫の役割や備蓄品に関する説明を受けた後、調理器具が無くてもご飯が炊ける「サバイバル飯作り」に挑戦する参加者



鮭の包み揚げに挑戦する参加者

6月10日(金)、保健福祉総合センターでは、独り暮らし高齢者の皆さんを対象に

独り暮らし高齢者の料理教室

シルバークッキングを開催しました。

最初に、村健康福祉課の担当者から認知症予防に役立つ「脳の鍛え方」についてお話を聞きした後、食生活改善推進協議会の皆さん及びシニアクラブ連合会女性委員の皆さんと一緒に、夏バテ予防健康料理「鮭の包み揚げ・おくら和え・みそけんちん・フルーツサンド」の4品に挑戦していただきました。

参加した男性の皆さんは、

「サバイバル飯作り」にチャレンジしました。これは、ビールの空き缶2個と燃料用の牛乳パック3個を使用し、1缶は上蓋を切り取った空き缶に米120gと水を入れ、もう1缶は、かまどを作り、かまどの穴から短冊に切った牛乳パックを燃やすことで、ご飯が炊き上がります。燃料を追加するタイミングが難しく、少し遅れると火が消えてしまうため燃料投入には苦労していました。

参加した親子10組の皆さんからは、「火力が弱くて上手く炊けなかった」「ちよ

とだけ、ご飯が硬かったけど美味しかった」などの声が聞かれました。



火が消えないよう火力を調整する参加者

春巻きの皮に、生鮭などを上下左右に包む際、ぎこちない手つきで取り組んでいました。完成した料理は皆さんで試食し、お互い交流を深めていただきました。



夏バテ予防健康料理の完成

デイサービスセンターの七夕飾り

7月5日(火)から11日(月)までの1週間デイサービスセンターでは七夕飾りを行いました。

動作訓練室の壁に笹の絵を描いた大きな紙を貼付け、そこに利用者の皆さんが書いた短冊を一つひとつ丁寧に貼付けました。願い事を書いた短冊には、

就労継続支援 B型事業所で

たのしサロンを開催

7月9日(土)、就労継続支援B型事業所では、利用者の皆さん6人が参加し、楽しい時間を過ごす交流の場「たのしサロン」を実施しました。今回は、ブロックを順番に一個ずつ抜き取り、頂上に積み上げていくジェンガゲームを行いました。

ゲームの後は、小布施町のアイスクリーム店を訪れ、栗やいちご味のアイスクリームを食べて楽しみました。出掛けることが少なかった利用者の皆さんにとって「たのしサロン」に集まり交流できたことはとても良い機会となりました。

「メロンが食べたい」「宝くじ当たれ」「早く元気になるたい」など思い思いの願いが書かれていました。



短冊を丁寧に貼り付ける利用者の皆さん

松の湯倶楽部って どんなところ

松の湯倶楽部は、山田温泉の「松の湯荘」を利用して実施する通所型サービスです。

自立支援を推進するため要介護状態となる前の高齢者の皆さんを対象に、生活機能向上のためにインストラクターによる機能訓練を行ったり、レクリエーションや入浴などのほか、食事は利用者の皆さんとスタッフが一緒に調理をしています。

また、季節ごとの楽しみとして、春には村内の桜の花見、秋は紅葉狩り、冬至には、ゆず湯など季節に応じたイベントを企画しています。

日赤会費の納入

ありがとうございました



会員の皆さまからお寄せいただいた会費は、72万3千円となりました。区の役員さんを通じて納入していただき、大変ありがとうございました。

日赤会費は、地震や風水害など災害が発生した際の災害救護活動を始め、医療事業・血液（献血）事業、国際活動など、命をつなぐ9つの赤十字事業に利用されています。

日本赤十字社では、引き続き活動に賛同していただける新規会員を募集しています。

詳しくは高山村社会福祉協議会へお問い合わせください。

☎242-1220

熱中症予防のため

高齢者福祉センターを無料開放しています

7月1日(金)から9月30日(金)までの3ヶ月間は、熱中症予防対策のため高齢者福祉センターを無料開放しています。

「家に居るより快適で過ごしやすい」「汗をかいた後の風呂は気持ちいい」などの声が聞かれました。



7月から9月までは気温が高くなり、熱中症の発生が懸念されます。エアコンの入った休憩室や休憩スペースで快適に過ごしていただき、健康保持に努めてください。
利用者の皆さんからは、

生活や就労などでお困りの方の

総合的支援を行います

「生活に困っているが頼れる人がいない」「病気があり仕事や生活が不安」「ひきこもり状態から抜け出したい」など、生活や就労でお困りの方は、長野生活就労支援センター「まじさぼ」が総合的支援を行っています。

高山村社協では、県と連携して「まいさぼ出張相談所」を開設し、県の相談員による相談体制を整えています。

一人で悩まずにお気軽に相談ください。

まいさぼ信州長野

場所

長野市中御所岡田98-1

長野保健福祉事務所庁舎内

☎267-7088

相談受付時間

9:30~17:00

〔月～金（休日を除く）〕

まいさぼ出張相談所

（高山村社会福祉協議会）

場所

高山村大字牧130-1

保健福祉総合センター内

☎242-1220

相談受付時間

8:30~17:15

〔月～金（休日を除く）〕

社協役員の紹介

よろしくお願ひします

会長 内山 信行

副会長 藤沢 敏和

副会長 日向 健二

常務理事 堀 一生

理事

高井 央葉 中村 雪子

久保田 守 涌井 富生

小林 誠二 山田麻記子

大川 恵美 松本 和子

監事

中村 義忠 関谷小一郎

評議員

浦埜 愛子 小坂橋千文

滝澤みき枝 田尻 陽子

宮川千恵子 黒岩 道子

山崎 裕子 坪井林一郎

湯本 律子 山崎 泉

西堀 節子 山岸 弘子

黒岩 隆三 松本 利昭

ご芳志

ご寄付に対し、心より御礼申し上げます。

令和3年度区長会 様
金 26,000 円

匿名希望 様
紙おむつ 2袋
紙パット 2袋

須高広域シルバー人材センター
会員互助会 みつば会 様
金 30,000 円

なかひら 山崎 富士江 様
しょうぶ
(デイサービスセンターのしょうぶ湯に使用させていただきました。)

本誌掲載の記事について
のお問い合わせ・申込先は、
高山村社会福祉協議会
☎242-1220 まで